經濟論叢

第148巻 第4-5-6号

哀 辞				
ὰ 堀江保蔵名誉教授遺影および略歴				
G・マリーンズの外国為替論 (1)本	Щ	美	彦	1
19世紀末ドイツ電機工業における労働能率増進策 (4)今々	、保	幸	生	22
スコットランド坑夫繋縛制変遷概観(2)加	藤		弘	48
アメリカ鉄鋼資本の多角的事業展開と				
日米合弁企業の位置づけ(2)石	Ш	康	宏	70
低開発国におけるドラーリゼイション (dolarization)安	原		毅	87
持続的インフレーションと政府	宗	浩	≡	104
時間選好に関する基礎的な考察依	田	禹	典	122
短期調整過程の二類型 (1)森	密	真	史	140
追加償却会計と取替原価償却会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	井		深	162
研究ノート				
FASB 1976年討議資料に関する研究ノート 藤	井	秀	樹	181
追 憶 文				
堀江保蔵先生を偲んで角	山		樂	190
堀江保蔵先生を偲ぶ山	本	有	造	195
学会記事・経済論叢 第147巻・第148巻 総目録	L C	· ·		

平成 3 年10.11.12月

京都大學經濟學會

哀 辞

堀江保蔵名誉教授は平成3年8月23日にお広くなりになりました まことに哀惜の情にたえません

先生は昭和3年京都帝国大学経済学部をご卒業の後 副手 講師をへて昭和9年2月助教授に就任されました 昭和20年3月「経済史」講座担当の教授に昇任され 以来同42年3月にご返官になるまで ひろく経済史の研究 教授に専念されました この間先生は (1)徳川時代諸藩の専売制度の研究 (「我国近世の専売制度」「近世日本の経済政策」など) (2)日本資本主義発達史の研究 (「日本資本主義の成立」「明治維新と経済近代化」など) (3)経済発展における企業家の役割にかんする研究および「家」の理念を導入した経営史の研究 (「日本経営史における『家』の研究」) など いくつかの領域で真に開拓者的な業績を残しておられます

先生はこれらのご研究のかたわら 学内では経済学部長 附属図書館長 評議員 東南アジア研究センター所長事務代理を歴任され京都大学の発展のために寄与されたご貢献にたいし ご退官のおりに京都大学名誉教授の称号を受けられました また学外においても日本学術会議会員 学術奨励審議会委員 社会経済史学会および日本経営史学会の理事等の重責を果たされ、学会活動ならびに文教行政において指導的役割を果たされました 先生のご活躍は退官されてからも続けられ 京都産業大学副学長 同大学図書館長としてカリキュラムの全面的改革 図書の整理業務における計算機の導入など 同大学の発展に努力されました

先生の遺された優れたご業績とご指導を偲びながら わたくした ちの深い哀悼の印にこの追悼号を捧げます

平成3年11月

京都大学経済学会